

中国語スピーチコンテスト

激戦だった神奈川大会

当協会主催の第33回全日本中国語スピーチコンテスト神奈川大会が、10月12日横浜市栄区内にある地球市民かながわプラザ1階会議室において開催された。

今回は、朗読発表部門に23人、スピーチコンテスト

部門に6人と例年になく多くの人がエントリーされた。中・高・大学生や社会人と立場は異なるが、それぞれ日頃の勉強の成果を披露した。

会場は、ご家庭の応援団や参観者等の多くの来場もあり、大いに盛り上がった大会となった。



朗読発表部門表彰式後参加者一同で

朗読発表部門の「中学生・高校生の部」で最優秀賞に輝いた梅澤時哉君（横浜市立小山台中学）は、小学生から参加し中学生となった今年正式に参加して最優秀賞を獲得した。「大学生・大学院生の部」では池田歩未さん（東京外国語大学）が最優秀賞に輝いた。



参加者一同で記念撮影

10月17日・18日の両日、当協会青年学生部会（通称チャイ華）・高橋堅次部会長）主催、各地域協会共催の「2015 日中秋季交流スクーリング IN 茅ヶ崎」が茅ヶ崎市内の柳島会館で開催された。

当日は県内外から、学生からお年寄りまで幅広い年代の、日本人・中国人約50名が参加。中国語・日本語それぞれ初級・中級・上級のグループに分かれて学び、その後、学んだ内容を生かして会話を楽しむ「言葉の交流会」が開催され、出身地や趣味を聞き合うなど交流を深めた。

2日目は、池田雅子講師の指導による太極拳の他、レクレーション（百人一首等のゲーム）・音楽（テレサテンの名曲「時の流れに身をまかせ」を中国語で歌唱）のグループに分かれてワークショップが実施された。

開催担当者は、「語学やレクレーションを通じてお互いを理解することで、交流が深まって行くと思う。日中関係はなかなか明るい光が見えないが、地域で小さな取組みを重ね、さらに大きな輪を作るように今後も頑張りたい」と話していた。

一方、スピーチコンテスト部門では、「大学生の部」で高瀬美穂さん（東京外国語大学）が最優秀賞に決定。この「大学生の部」は2名のエントリーがあったが両者ともレベルが高く、植田渥雄・何秀娥両審査員によ

る審査も、時間を延長するほど伯仲していた。参観者からは、「多くの若者が参加し、中国語を通じて中国を理解し好きになっていくことになり嬉しく思う。地方からの良い取組だ」との感想が寄せら

れた。なお、最優秀賞に輝いた朗読発表部門の梅澤時哉君とスピーチコンテスト部門の高瀬美穂さんは、1月10日（日）に東京で開催される全国大会に出場することが決定した。

日中秋季交流スクーリング

IN 茅ヶ崎